

Smart café in 医学部

～キャリアアップ座談会～

報告書



開催日：2020年2月17日（月）18：00～19：00

場 所：富山大学 臨床講義室1

参加者：61名(男29名、女32名)

(内訳：研修0、医師24、学生27、その他10人)

託児利用者：0名

総合司会：富山大学附属病院女性医師支援室員

坂本菜摘 先生

開会挨拶：富山県医師会副会長 村上美也子先生

ペアトーク：富山大学整形外科・運動器病学講座教授 川口善治 先生

富山赤十字病院整形外科医師 近藤美穂 先生

演題：「整形外科女性医師として教授に聞きたいこと」

近藤先生から産休育休は取得できるのか、その間の勤務先への補足はどうなっているのか、育児休暇明けから復帰はスムーズに行えるかなど、整形外科医局等への素朴な疑問を川口教授に質問した。

また、なぜ整形外科を選択したのかについて、近藤先生からは整形外科が面白く、楽しい面が一番多い科だと思う。自分が治療、手術した患者が目に見えて回復するので実感がわくとのこと。

川口教授からは、現時点で整形外科の勤務体制は朝7：30～8：00に集まることにより、夜のカンファレンスは行っていない。手術についてもチームで行っているため、チーム内で時間の都合や調整を行っているとの現状について説明があった。

座長：富山大学整形外科・運動器病学講座教授 川口善治 先生

演題：「置かれた場所で咲きましょう～整形外科女性医師6%の現状と未来～」

講師：広島大学整形外科運動器超音波医学准教授 中島祐子 先生

・自分の良かったところ。子供を出産しても医局を辞めなかったこと。人はあまり興味を持たなかったことに興味を持ったこと。医師11年目第3子出産後、エコーとの出会い。エコーと出会ってからは積極的になったこと。それにより、手外科専門医・超音波専門医を取得。

・エコーに出会ってから、運動器エコーを学ぶ、情報交換の場、仲間発掘の場として、E-Girls projectを立ち上げた。整形外科女性医師の仲間意識はすぐ芽生え、女性医師たちの「学びたい欲」がはじけていると感じている。

・スキルアップとキャリアアップの違い
→スキルアップ…「能力を高めること」

→キャリアアップ…特定分野での専門知識や能力を向上させ、「経歴」を高めること。高い地位や高給が見込める職種へ変わること。

→キャリアアップに必要な力

- 1.戦略的に未来を設計する力（成長と経験を先取りする）
- 2.自分について深く分析する力
（自分に足りないものを上司と共有）
- 3.自分にうまく火をつける力
（自信のアップはモチベーションのアップに繋がる）
- 4.人間関係をマネジメントする力
（良い人間関係（つながり）は世界を広げる）

キャリアアップのゴール
・自分自身の充実感や幸福感

・敵は周りじゃない、周りはみんな味方。敵は自分の中にいる。頑張る態度は周囲の人を動かす。常に感謝の気持ちを忘れない。

閉会挨拶：富山県医師会理事 川口善治先生



【中島先生】



【近藤先生】 【川口教授】

